

10代をひとりにしない ディーピー
認定NPO法人 D×P

20250408記者会見



- D×Pについて・会見趣旨説明
- ユキサキチャットについて
- 闇バイトに関するアンケート調査結果について
- 緊急支援について
- 質疑応答

DxPについて



団体概要



- 団体名: 認定NPO法人D×P(ディーピー)
- 設立: 2012年6月27日
- 認定NPO法人格の取得: 2015年6月8日
- スタッフ数 45人(アルバイトスタッフ含む)
- ボランティア数 約830人
- 月額寄付者数 3,461人

※人数は2025年3月29日時点

役員/アドバイザー



理事長
今井紀明



理事
村中直人
(一般社団法人子ども・
青少年育成支援協会
共同代表)



理事
入谷佐知
(D×P ディレクター)



監事
毛受芳高
(一般社団法人アスパン教
育基金 代表理事)



アドバイザー
辻由起子
(社会福祉士/
こども家庭庁参与)



顧問社労士
和田紘子
(大原社会保険労務士
法人 代表)



顧問弁護士
高橋健
(弁護士法人 伏見総合法
律事務所)



アドバイザー
田中宝紀
(特定非営利活動法人青
少年自立援助センター
定住外国人支援事業部
事業責任者)



アドバイザー
浅見清夏
(ハウスバード株式会社
代表取締役)



アドバイザー
東 信吾
(ソーシャルビジネス
バンク 代表理事
東京コミュニティ財団
理事
千本財団 理事
EYストラテジー・アンド・コンサル
ティング
シニアフェロー)



アドバイザー
渡邊 淳
(公認会計士渡邊淳事務所
代表)

ユース世代の孤立

不登校・中退・家庭内不和・経済的困難
いじめ・虐待・進路未定・無業などによって、
いくつかの安心できる場や所属先を失ったとき
に起こります。

特に日本では若年層に対する予算を割くことが
難しく、対応が後手になりやすい分野です。

日本のユース世代を取り巻くデータ

不登校の小中高生が 41万5,252人 ※1
2023年度の不登校の小中高生の人数は**2013年度
より3.5倍(29万5,635人)増加し、過去最多**

10代の無業者 が5万人 ※2

児童虐待相談件数が 21万4,843件 ※3
2022年度の児童虐待相談対応件数も**過去最多**

小中高生の自死者数が 527人 ※4
2023年の小中高生の自死者数は**過去最多**
**国際的にみても、10～19歳の死因で自死が最も多
いのは先進国 (G7)で日本だけ**

子どもの貧困は 9人に1人 ※5

※1 文部科学省令和5年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

※2 総務省『労働力調査』(2024年4月時点)

※3 こども家庭庁令和4年度児童相談所における児童虐待相談対応件数より

※4 厚生労働省・警察庁令和5年中における自殺の状況、厚生労働省令和5年版自殺対策白書より

※5 2022年 国民生活基礎調査

Vision

DxPが目指す社会

ひとりひとりの若者が
自分の未来に
希望を持てる社会

Mission

DxPが成すこと

ユース世代に、
セーフティネットと機会を

事業の全体像 -若者の孤立を解決するための方法-



セーフティネット事業



ユキサキチャット

若者の一歩をサポートするLINE相談



食糧支援と現金給付

厳しい状況の若者の生活を支える



大阪ミナミのユースセンター

繁華街(グリ下)で過ごす若者が安心して過ごせる居場所

機会創出事業



パソコン給付プロジェクト

パソコンで将来の選択肢をひろげる



ワールドチャレンジ

世界を見る経験を届けるプロジェクト



仕事体験ツアー

働く具体的なイメージが持てる仕事体験

ユキサキチャット



電気やガス代が支払えず滞納しているものがあります。

払わなくてはならないですが、お金が足らず、
これからどう過ごそうかと不安です。

家族は過干渉で、成功しているということを示せないと
何も認めてくれません。

意見が異なると糾弾され、殴られたこともあります。

そんな家族と離れなければと思い、
1人で暮らすことに決めました。

何としてでも1人で暮らさなければと思っています。

家庭の収入が少ないのでアルバイトをして家計を助ける予定でしたが、家族の看病、学校での勉学、アルバイト等をしているうちに、**私自身がストレスによって働けない状況**になってしまいました。

生活費を減らすため、エアコンを使わないようにするなどしています。

親は、貧しい思いをさせないようにと工夫してくれていますが、正直足りないと思っています。

これ以上、節約するのは限界です。

「親に頼れない若者」なぜ頼れない？



保護者に頼れない要因は、虐待や経済的な状況など様々な事情があります。また、相談者が持つ困りごとは単一的な課題だけでなく、身体や精神、金銭面など様々な事情が絡み合っています。



ひとりひとりに応じたサポートを届ける



ユキサキ支援パック

緊急支援パック

緊急で
8万円を給付
+
チャット相談

一時的な生活安定

虐待を背景とした親元から引っ越すための資金や、滞納により住居費が払えないなど、今不足するお金を緊急で支援します。

短期支援パック

3ヶ月間
月1万円と食糧を給付
+
チャット相談

就職/公的支援へのつなぎ

就職活動中の生活費や、生活保護や住宅確保支援金などの公的補助が入金されるまでの期間の短期的なつなぎの役割を果たします。

長期支援パック

6ヶ月～1年間
食糧支援
+
チャット相談

長期でささえる

ヤングケアラーの方や、生活保護が受けられないが困窮している学生など、長期にわたって支えが必要な方に食糧をお渡しします。

若者ひとりひとりに合わせたカスタマイズ



ひとりひとりの状況に合わせてカスタマイズした食糧支援。

基本セット



お米やパスタ、温めるだけで食べられるレトルト食品、1日に必要な栄養素を補う完全栄養食など。手軽さと栄養を考慮した基本のセットです。

療養セット



調理の手間が必要ないものをメインにゼリー、飲み物などを多めにして発送します。コロナ罹患中でも食べやすいことを念頭に置いたセットです。

お湯のみセット



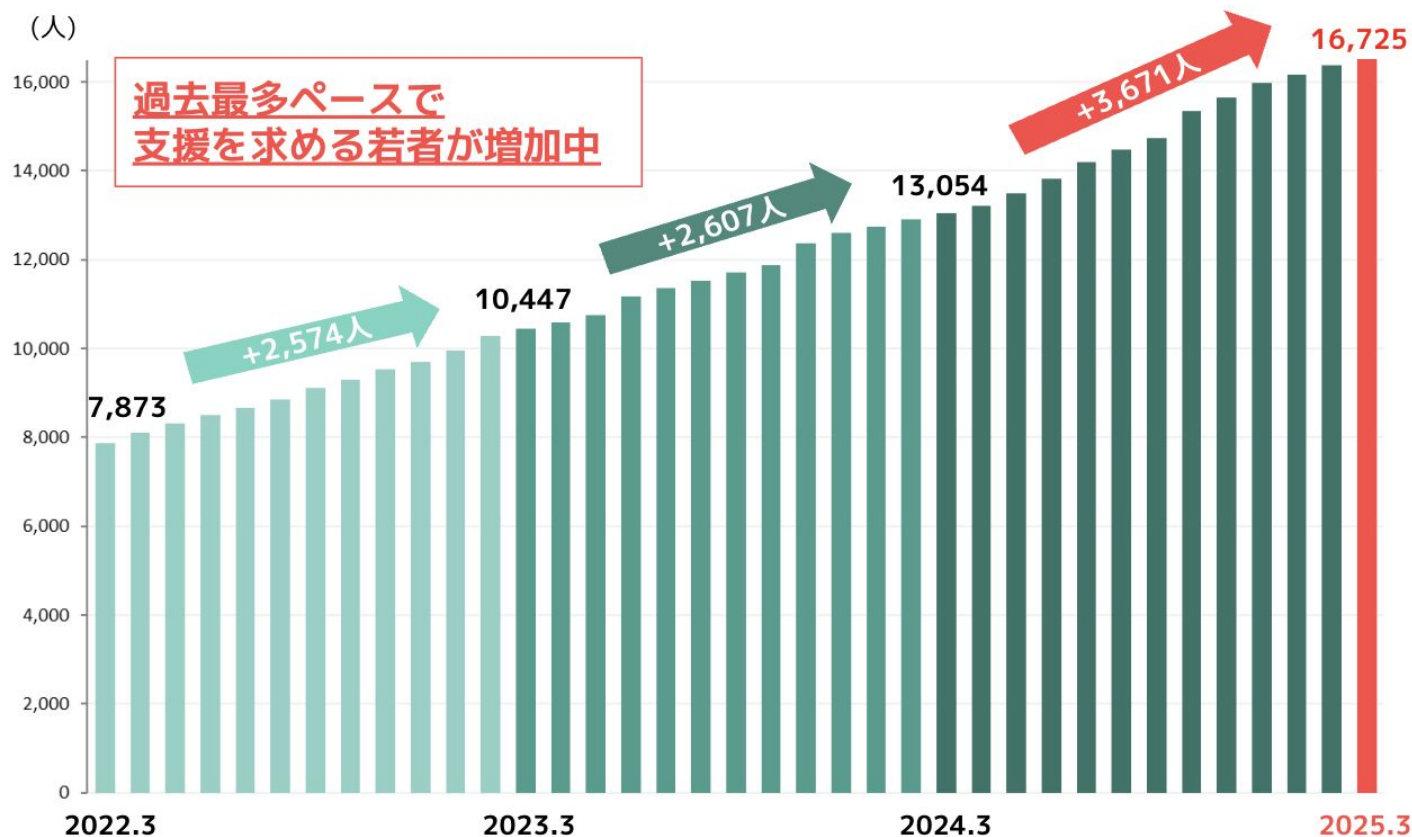
お湯だけで調理できるレトルト食品を中心にしたセットです。電子レンジや炊飯器等の調理器具を持っていない方へ送ります。

ガス・電気が止められている時セット

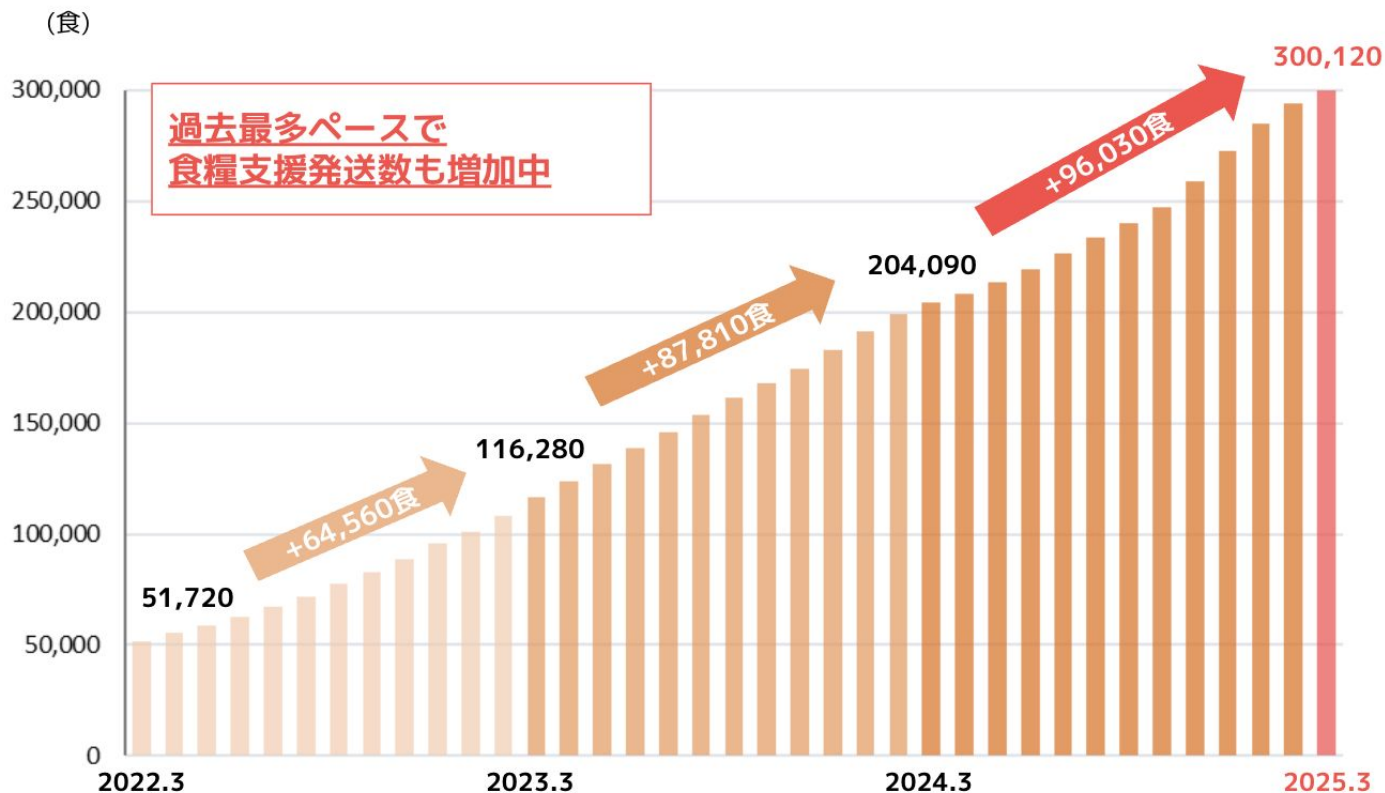


シリアルや常温で食べられるおかゆ、スープなどを中心にしたセットです。ガスや電気を止められている方へ送ります。

ユキサキチャットの登録者数推移

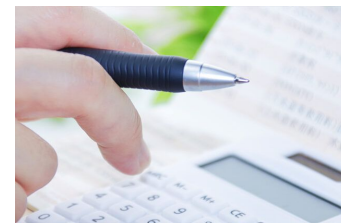
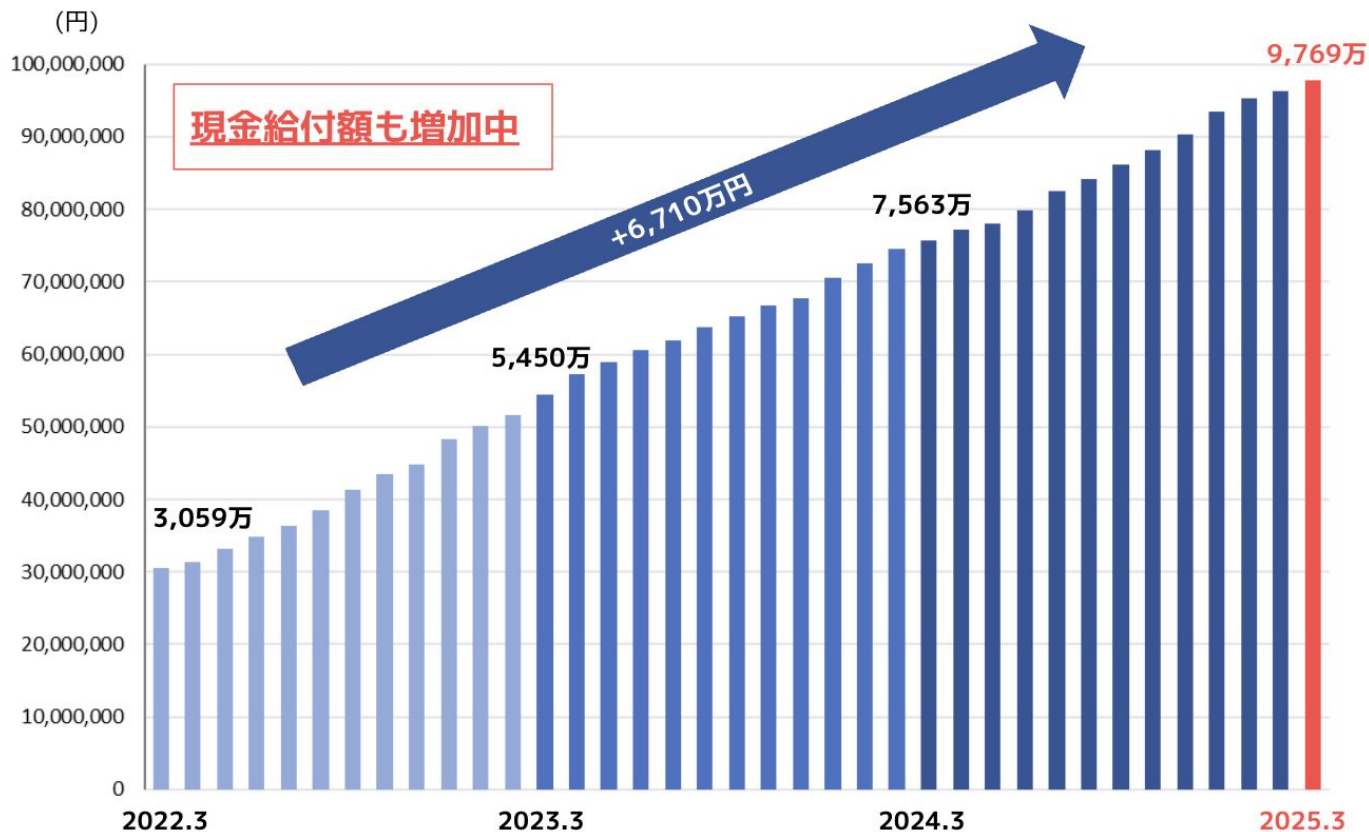


食糧支援の発送食数推移



※2024年12月20日には
1日過去最多の4,320食を発送

現金給付額の推移



※2024年12月は
2023年度以降の最多額を給付

闇バイトに関するアンケート調査 結果公表

512人の若者の声が集まりました

概要・目的

困窮している若者が闇バイトに関してどのような経験を有しているかや相談資源・相談ハードルについて知り、実態を広く発信し、取り組みに繋げていく

調査対象

認定NPO法人D×Pが運営するLINE相談
「ユキサキチャット」利用者

回答者数

期間中利用者**9008人**のうち512人が回答（回答率**5.6%**）

アンケート期間

2025年1月31日から2025年2月15日

- アンケートにより、下記の知見が得られた
 - 闇バイトの経験に関して、**11.7%**が「**経験がある・周囲に経験ある人がいる**」と回答しています。
 - 闇バイトという言葉を知っているのは**98.2%**。実際にあやしい求人を見たり誘われた経験があるのは**39.8%**。
 - 相談しない・わからない理由として、「**相談しても解決できなそうだから**」が**46.9%**。また、3人に1人が「警察や相談先の大人に怒られるかもしれない」「電話で相談するハードルが高い」と感じていると回答しています。
 - 闇バイト検討層・非検討層で大きく差がある困りごとは「**経済的に苦しい**」(22.5ポイント差、1.51倍)、「**親や家族となかがよくなり、頼ることができない**」(15.2ポイント差、1.57倍)、「**親や家族に、経済的に頼ることができない**」(13.5ポイント差、1.35倍)であった。

回答者512人の属性



平均年齢は20.1歳

「男性」を選んだ方の平均年齢は20.2歳／「女性」を選んだ方の平均年齢は20.0歳

※ユキサキチャットはもともと女性が男性の約2.9倍登録していることから、本調査でも女性の回答が多くなっている

性別

得点

答えたくない

4.5% (23人)

その他

4.9% (25人)

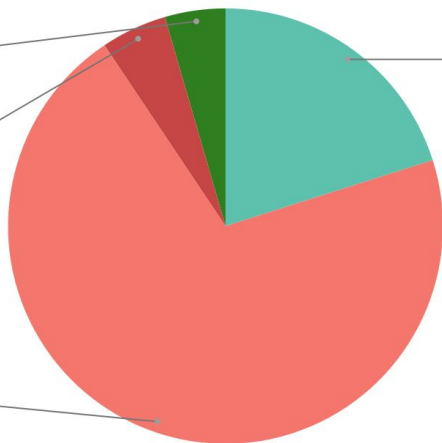
女

70.5%

(361人)

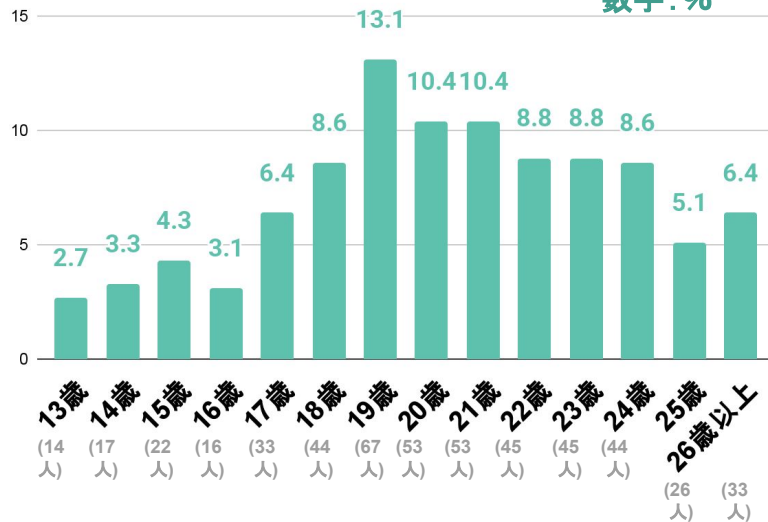
男

20.1%
(103人)



年齢

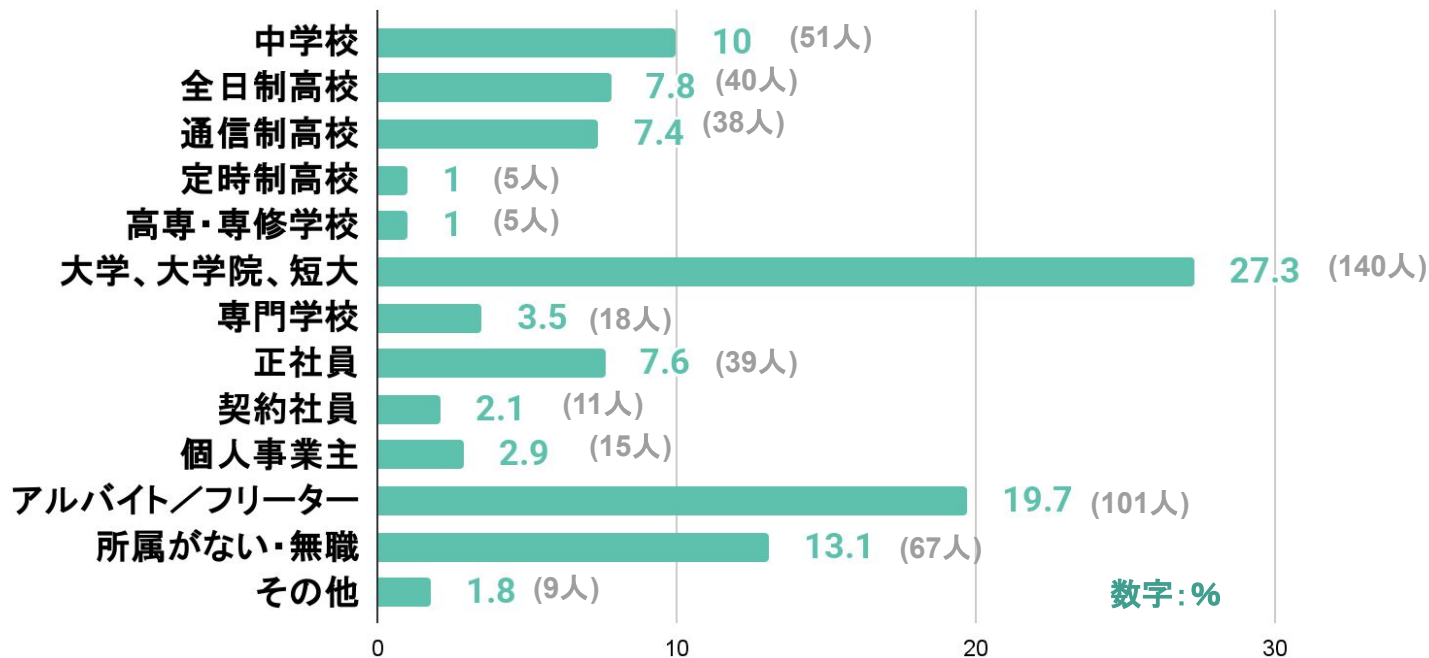
数字: %



回答者の所属(n=512) ※複数回答



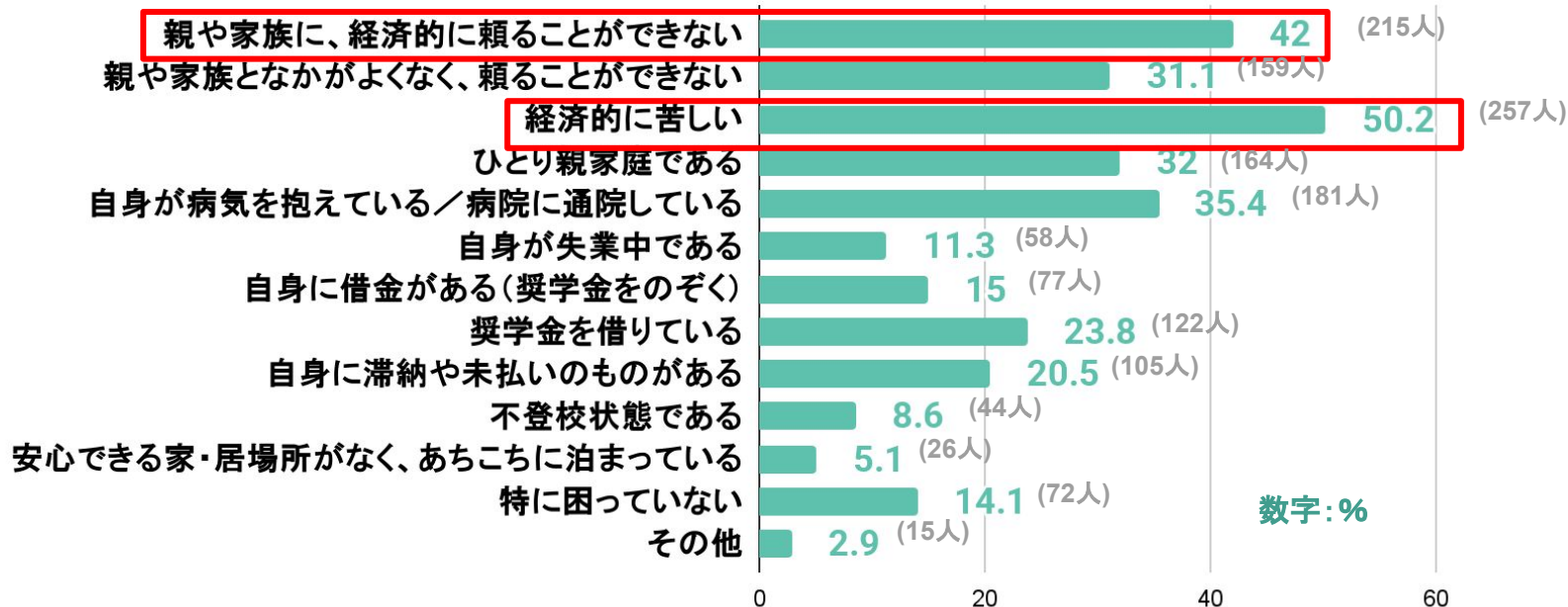
回答者のうち297人（58％）が教育機関に所属。その他42％は会社員、アルバイト、無職等である。



回答者の状況(n=512) ※複数回答



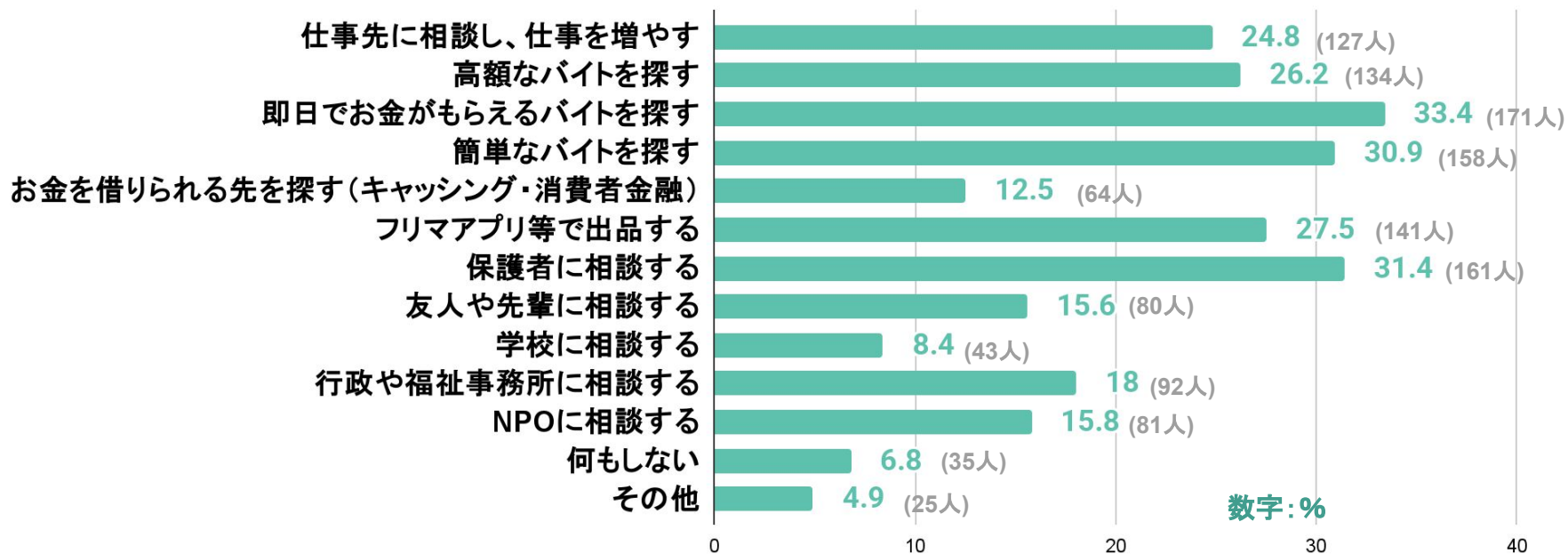
「特に困っていない」のは14.1%のみ。困りごとで多いのは「経済的に苦しい」50.2%、「親や家族に、経済的に頼ることができない」42%、「自身が病気を抱えている／病院に通院している」35.4%。



生活費に困ったとき、どうするか_(n=512) ※複数回答

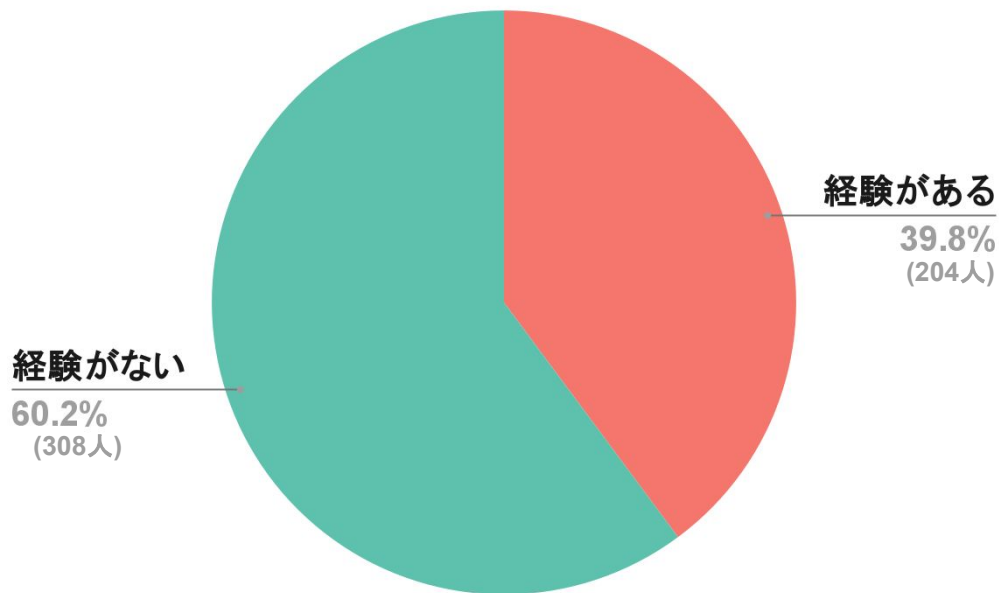


3分の1の若者が、「即日でお金がもらえるバイトを探す」を選択。学校・行政・NPO等に相談するより、自分で仕事・バイトを増やしてどうにかする、家族に相談する傾向が見られる。



実際にあやしい求人を見たり誘われた経験があるのは39.8%であった。

Q:闇バイトと思われるあやしい求人を見たり、誘われた経験はありますか？※簡単に稼げる、高収入、1日で数万円といった内容



闇バイトの経験 (n=512)



11.7%が「経験がある・周囲に経験ある人がいる」と回答。4人に1人が、「お金に困ったらやるかもしれないと思う」と回答。

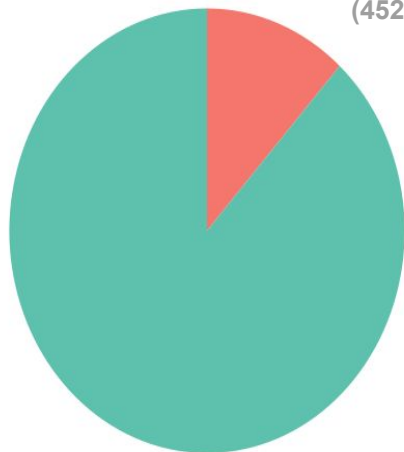
Q.闇バイトや怪しいバイトの経験、
または知人にその経験者はいますか？

(60人)

● 経験がある・周囲に経験ある人がいる 11.7%

● 経験がない 88.3%

(452人)



Q.今後、もし闇バイトに誘われることがあったら、
どうしますか？

(10人)

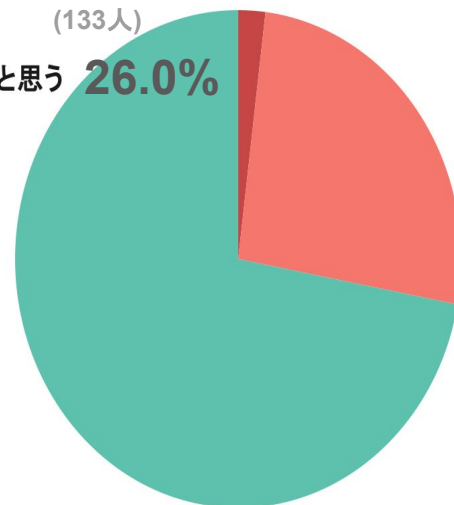
● やると思う 2.0%

● お金に困ったらやるかもしれないと思う 26.0%

● やらないと思う 72.1%

(369人)

(133人)

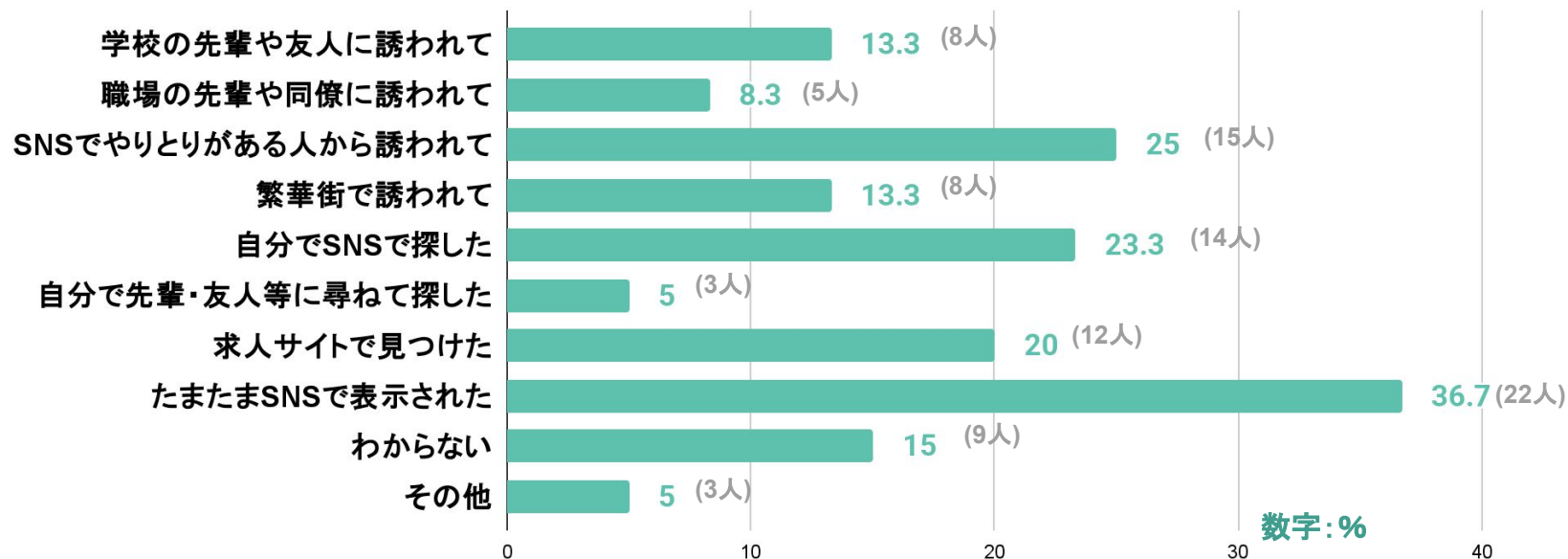


闇バイト経験者（周囲の経験含む）の認知経路（n=60）※複数回答



3人に1人以上が、たまたまSNSで表示されている。その他、「SNSでやりとりがある人から誘われて」「自分でSNSで探した」「求人サイトで見つけた」が多い。

Q:1つ上で「経験がある・周囲に経験ある人がいる」の方は、どこで闇バイトやあやしいバイトを見つけましたか？

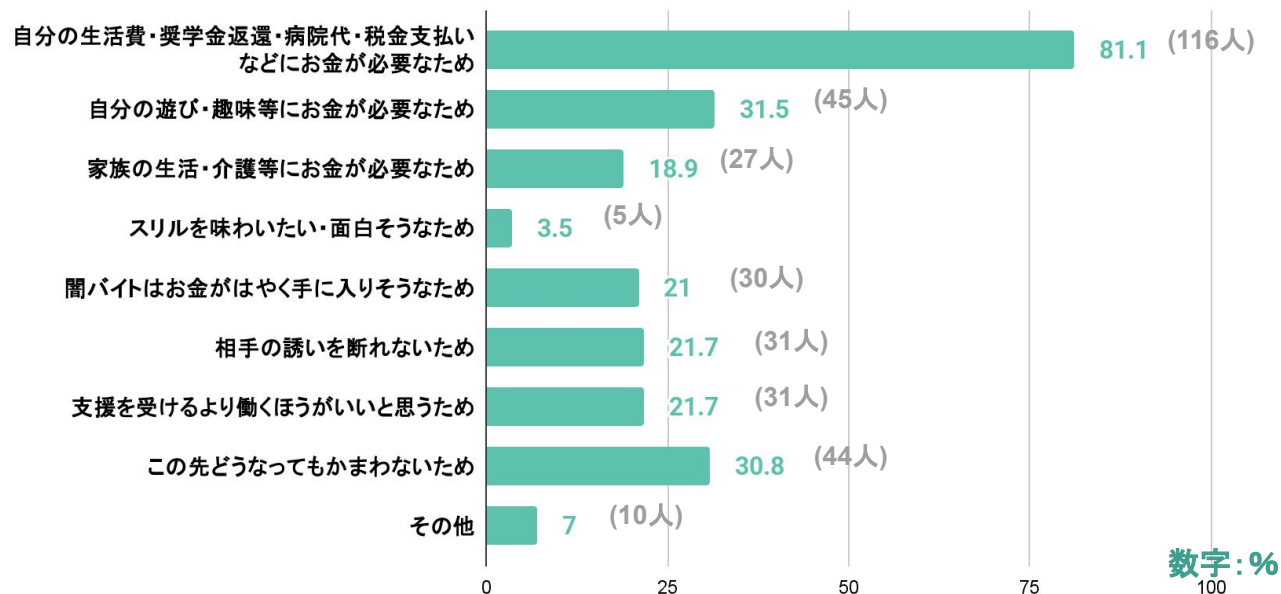


闇バイトを検討する理由 (n=143) ※複数回答



81.1%が「生活費・奨学金返還・病院代・税金支払いなどにお金が必要なため」と回答。また30.8%が「この先どうなってもかまわないため」と回答している。

Q:1つ上で「やると思う」「お金に困ったらやるかもしれないと思う」を選んだ方のみお答えください。理由は何ですか？



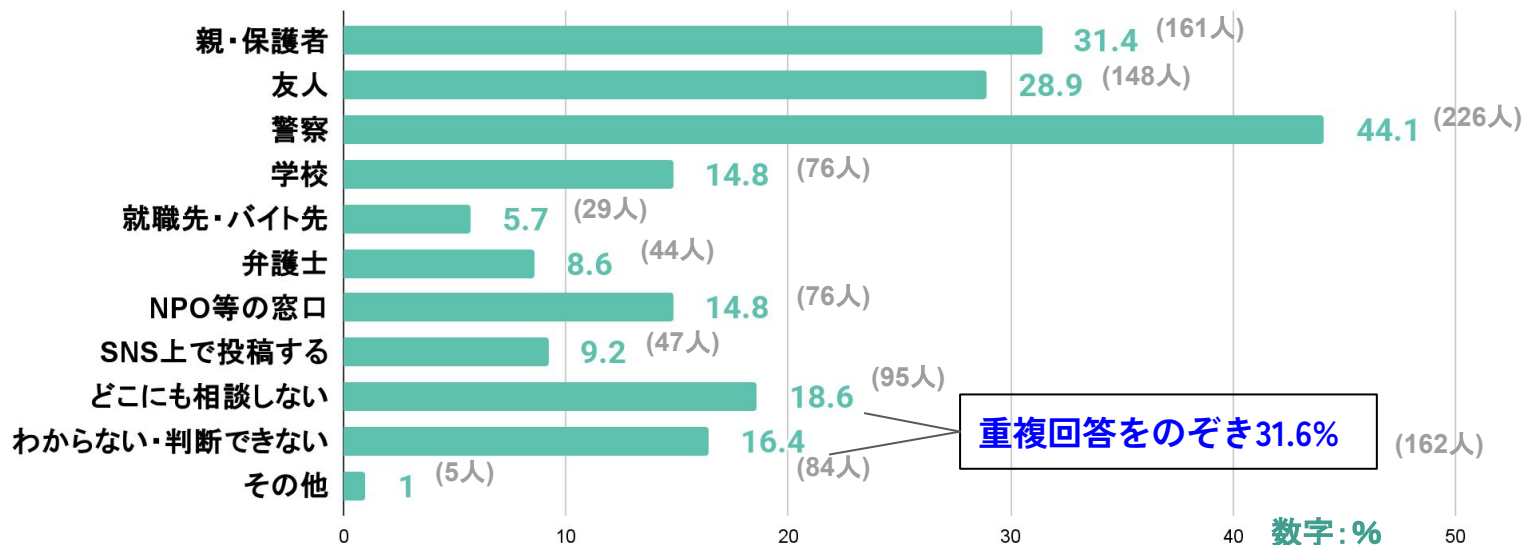
- ・支援に受けられるものがないため
- ・どうしてもいいから
- ・タイミーなどでバイトを探したりして食いつないでいるが、闇バイトを防ぎきれない案件などもあり、防ぎきれないかもしれない
- ・いくつもバイトを掛け持つことや、身分証を出して雇ってもらうことを考えたら、簡単な仕事を選んでしまうかもしれない
- ・支援の相談に行ったら、「おまえは闇バイトするしかない」と言われた

闇バイトに誘われた際の相談先 (n=512) ※複数回答



44.1%が「警察」を相談先にあげ、続いて「親・保護者」「友人」など身近な存在が続く。
しかし31.6%は「どこにも相談しない」「わからない・判断できない」と答えている。

Q:もし闇バイトや犯罪行為に誘われたら、どこに相談しますか？

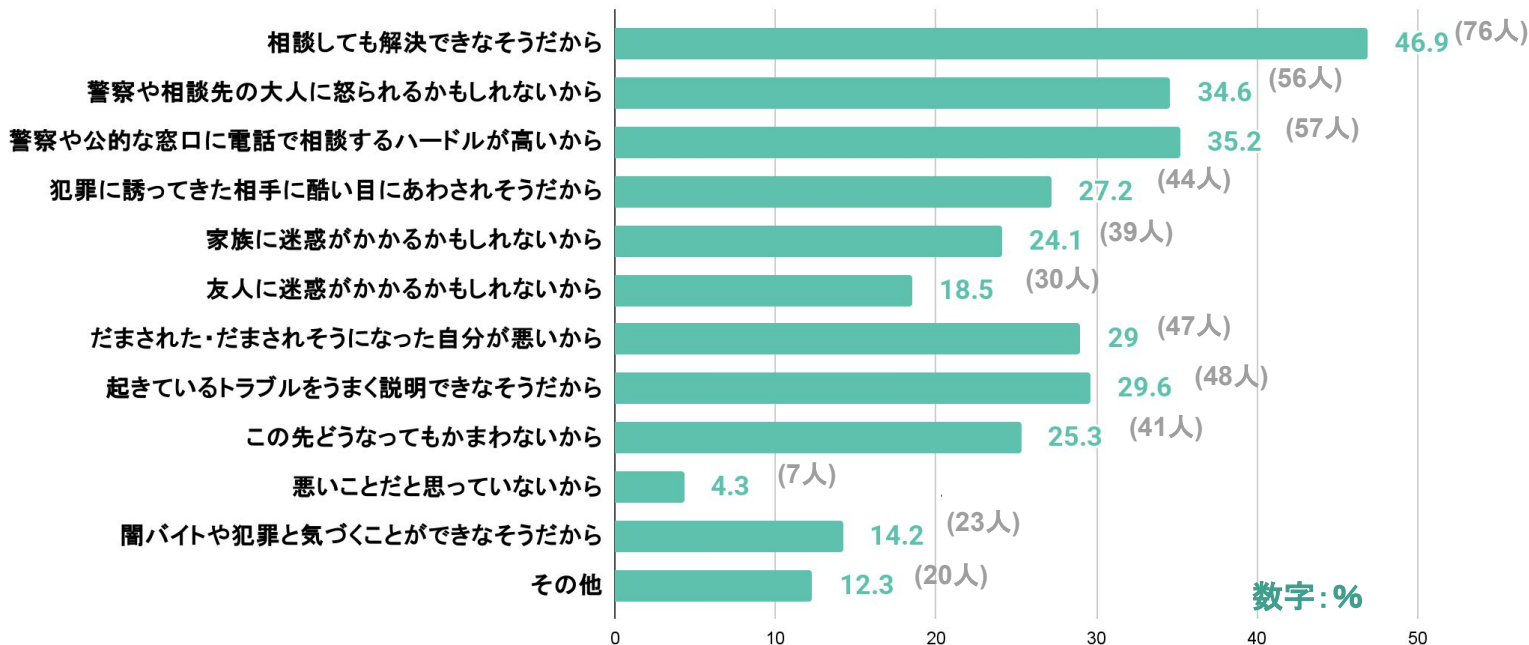


相談しない・相談先がわからない理由 (n=162) ※複数回答



「相談しても解決できなそうだから」が46.9%。また、3人に1人が「警察や相談先の大人に怒られるかもしれない」「電話で相談するハードルが高い」と感じている。

Q:1つ上で「どこにも相談しない」「わからない・判断できない」を選んだ方のみお答えください。理由はなんですか？



相談できる相手がいないから

警察や公的な窓口が自分を確実に守ってくれるとは思えないから。犯罪組織に勝る知恵や力を日本の警察や公的組織が持っているとは思えないから

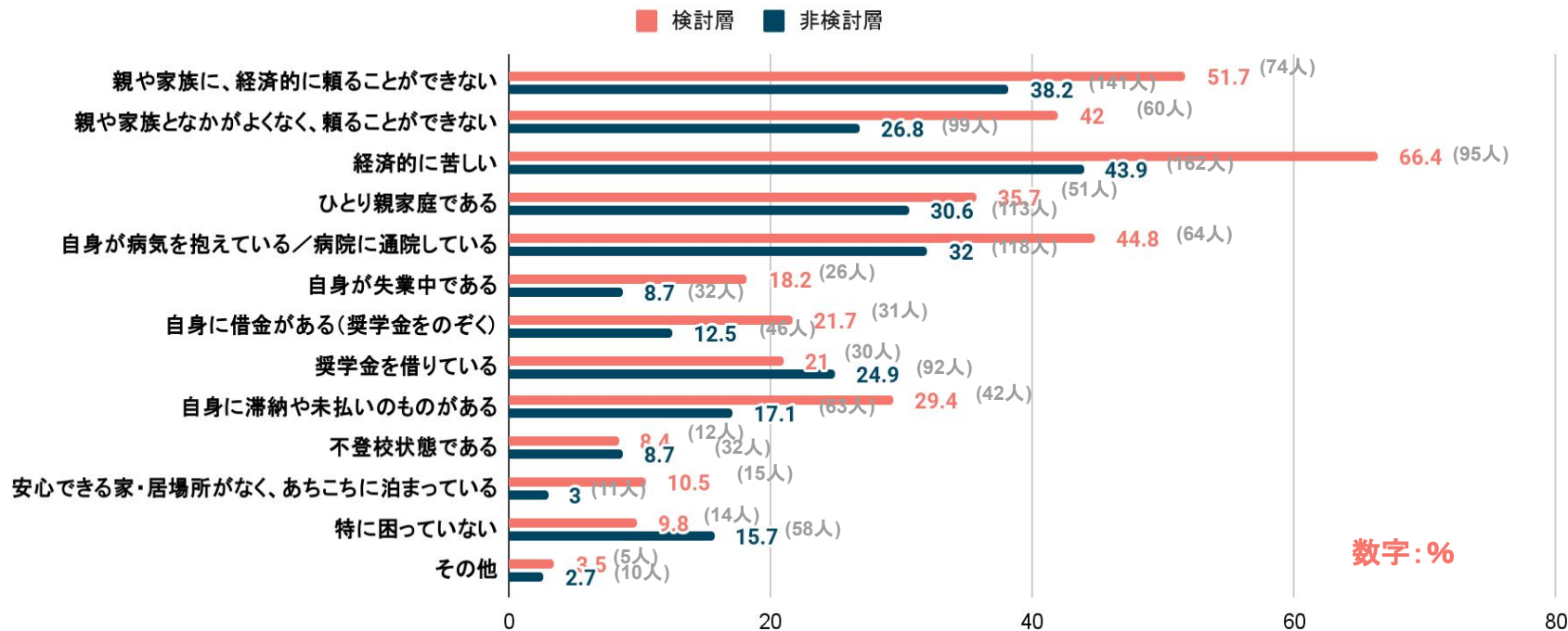
家族と繋がりそうでむり

お金の問題が解決しなさそうだから

闇バイト検討層と非検討層の比較／困りごと（検討層n=143、非検討層n=369）



検討層・非検討層で大きく差がある困りごとは「経済的に苦しい」（22.5ポイント差、1.51倍）、「親や家族となかがよくなく、頼ることができない」（15.2ポイント差、1.57倍）、「親や家族に、経済的に頼ることができない」（13.5ポイント差、1.35倍）である。比率に差があるのは「安心できる家・居場所がなくあちこちに泊まっている」（3.5倍）、「自身が失業中である」（2.09倍）、「自身に借金がある（奨学金をのぞく）」（1.74倍）、「自身に滞納や未払いのものがあ」（1.72倍）、であり、安定した住居・仕事を持てていないことも示唆される。また検討層は平均3.53個、非検討層は2.49個の悩みを抱えており、検討層はより複合的な困難を抱えている傾向がある。



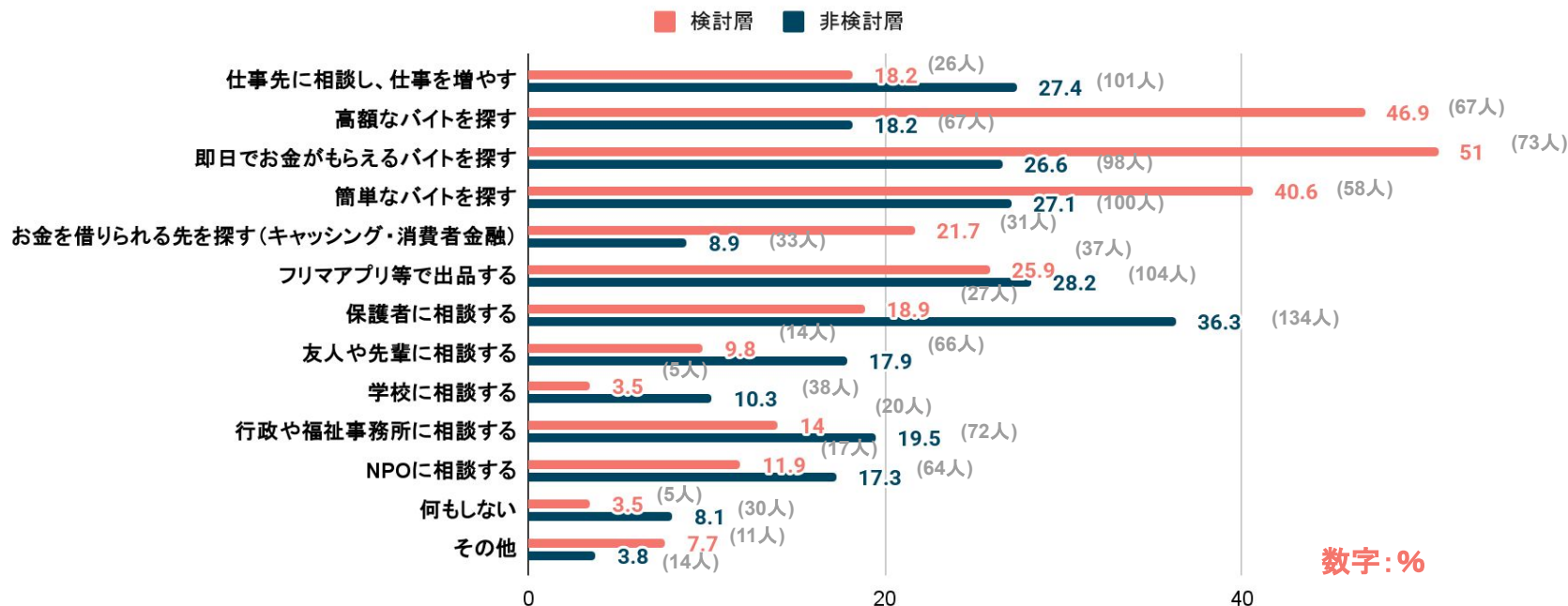
闇バイト検討層と非検討層の比較／生活費に困ったときどうするか



(検討層n=143、非検討層n=369)

検討層・非検討層で大きく差があるのは「高額なバイトを探す」(28.7ポイント差、2.58倍)、「即日でお金がもらえるバイトを探す」(24.4ポイント差、1.92倍)、「保護者に相談する」(-17.4ポイント差、0.52倍)である。比率に差があるのは「お金を借りられる先を探す(キャッシング・消費者金融)」(2.44倍)である。

闇バイト検討層は、非検討層と比べると、仕事先・保護者・友人・学校・行政・NPO等、いずれにも相談しない傾向を示しており、周囲に相談せず(できず)、高額・即金バイトや借金先を探すなどひとりでなんとかしようとする傾向がみられる。



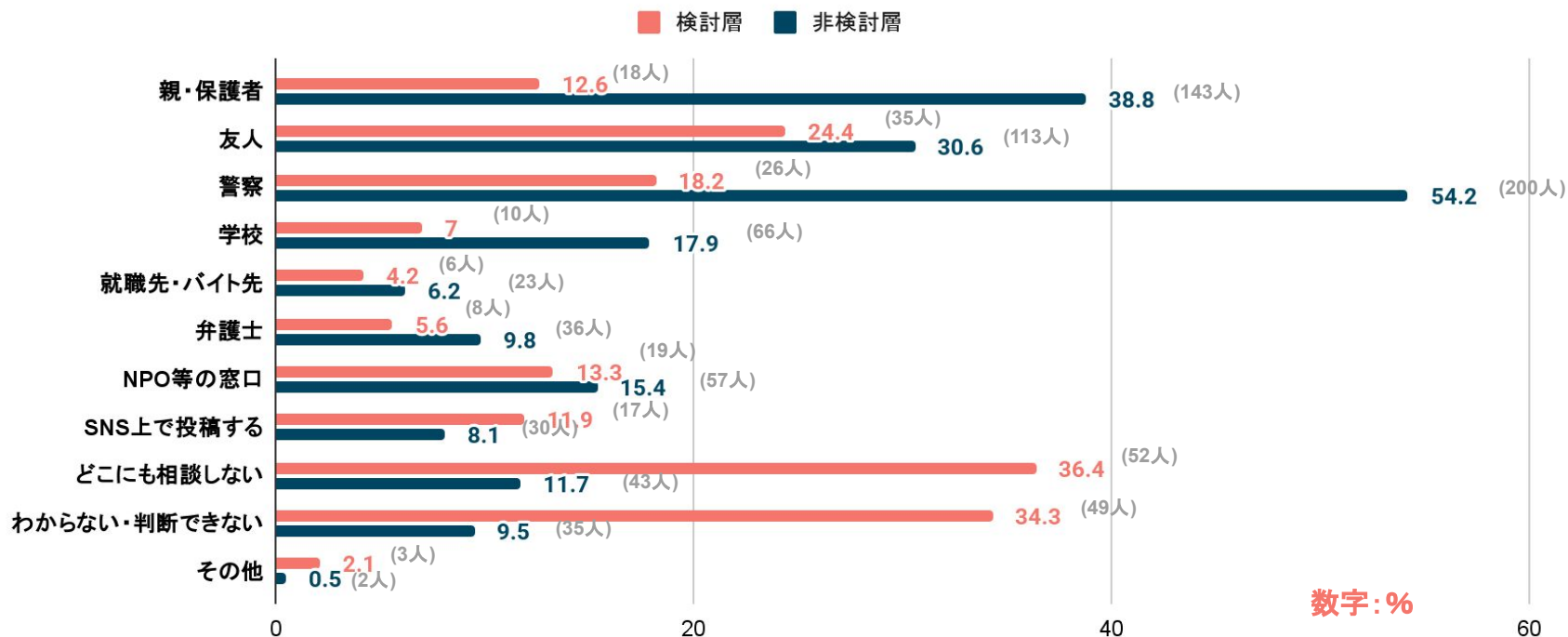
闇バイト検討層と非検討層の比較／闇バイトに誘われた場合の相談先



(検討層n=143、非検討層n=369)

検討層・非検討層で大きく差があるのは「警察」(-36ポイント差、0.34倍)、「親・保護者」(-26.2ポイント差、0.32倍)、「わからない・判断できない」(24.8ポイント差、3.61倍)、「どこにも相談しない」(24.7ポイント差、3.11倍)である。

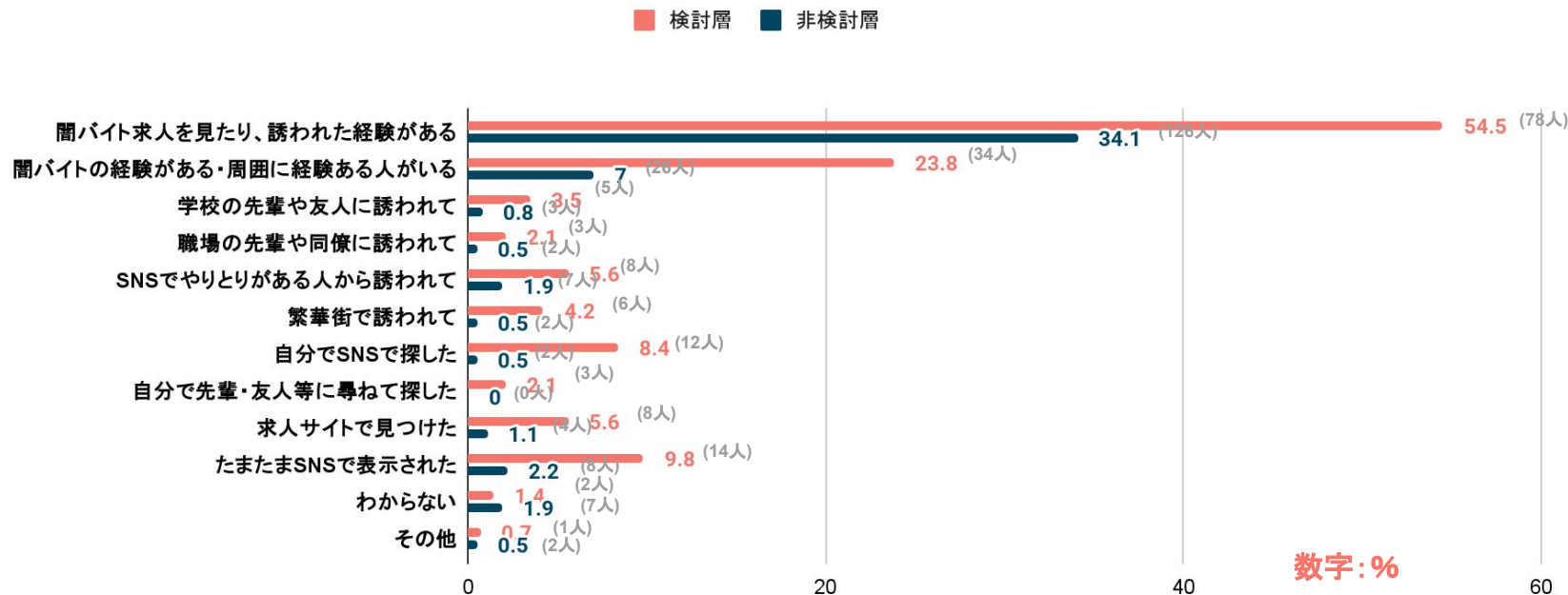
闇バイト検討層は、警察や保護者へ相談せず、相談先がわからない・どこにも相談しない傾向がみられる。



闇バイト検討層と非検討層の比較／闇バイト認知と経験 (検討層n=143、非検討層n=369)



闇バイト検討層のほうが、「闇バイト求人を見たり、誘われた経験がある」(20.8ポイント差、1.6倍)「闇バイトの経験がある・周囲に経験ある人がいる」(16.8ポイント差、3.4倍)という傾向があり、闇バイトとの接点が多くある。



・闇バイト検討層・非検討層の比較より、「経済的な困難」「家族に頼れない」「住所不定、失業中」などが背景にあることが見えてきている。闇バイトを検討する理由も、生活費や病院代・税金支払い等にお金が必要という回答が8割を超えている。

→政府は闇バイト対策として捜査強化や匿名求人を違法とするなどを進めている。**だが、検討せざるを得ないような困窮な環境下にいる若者に対して、福祉的な策を講じていくことも大事ではないのか。**

・相談しない理由として、「怒られるかもしれない」「電話のハードルが高い」など、既存の支援・相談窓口の問題点も示されている。自由回答では「支援の相談に行ったら『おまえは闇バイトするしかない』と言われた」という回答もあった。支援を断られた経験を持つ若者もあり、保護者や警察等の大人に相談せずに自力で稼いでなんとかしようとする傾向がみられる。

→仮に闇バイトを警察相談で止めることができたとしても、若者の経済状況の改善がなされない限り、また高額・即日バイトを探し、闇バイトにつながってしまう恐れもある。**若者の生活立て直しも含めた総合的な相談窓口の設置や、生活保護制度や生活福祉資金貸付制度などへのアクセシビリティ向上、怒られずに信頼できる大人との関係性づくり、借金整理や住居確保、就学継続・就労等に伴走する取り組みが必要なのではないか。** 警察だけでなく、子ども家庭庁・厚労省などとも一緒に考えていきたい。

若者を支える活動に参加してください



闇バイト

から狙われる前に



困窮する若者に支援を

D×P寄付募集・春

闇バイトと隣り合わせにある若者へ支援を届けていきます



2024年、闇バイト問題が世間を震撼させました。ネット上では「闇バイトは犯罪です」という注意喚起が各所で見られますが、現在でも闇バイトは一般的な求人の影に潜んでいます。そしてそのターゲットになるのは、孤立し、困窮を深める若者たちです。

困窮する若者の多くは、虐待やその他家庭の事情から親を頼りません。既存の支援制度を頼ろうにも、窓口は対面のみで相談しづらかったり、生活保護の規定が複雑だったり、親の照会を求められたり、若者にとって縁遠いと感じられる傾向にあります。

こうした背景からさらに孤立を深めた若者は、明日を生きるためになんとかお金を確保しようとします。そこを狙うのが闇バイトです。D×Pはオンライン相談「ユキサキチャット」を通じて、食糧支援や現金給付などの支援を提供しています。若者が闇バイトに辿り着く前に、頼れる場所を提供するため、寄付を募るクラウドファンディングを実施します。

ユキサキチャットからの子どもや若者への支援費（運営費も含む2,000万円を目標に集め、闇バイトに辿り着く前に、困窮する若者に必要なサポートを行います。

- 目標金額：2,000万円
- 期間：4月8日（火）～5月30日（金）
- 内容：闇バイトと隣り合わせにある若者に、食糧支援・現金給付・相談などの必要なサポートを届ける

月額寄付サポーターも募集しています



10代を、 ひとりにしない。

不登校経験・経済的困窮・発達障害などの生きづらさを抱えた10代を
孤立させないセーフティネットをつくりませんか？

月額寄付サポーター

現在 **3,447** 人／目標 **10,000** 人

(2025年03月09日現在)

あと **6,553** 人で達成！

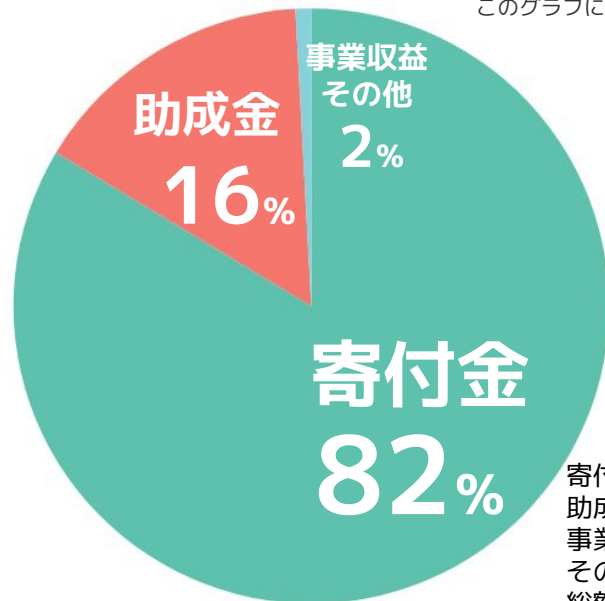
D×Pの活動はご寄付で成り立っています



私たちの活動は取り組みに共感してくださる方々からの寄付で支えられています。

2023年度収入内訳

※2023年度は資金分配団体に採択されていますが、
このグラフには含めていません



寄付金：2億2,389万円
助成金：4,465万円
事業収益：348万円
その他：113万円
総額：2億7,316万円

ご寄付で活動する理由

・迅速かつ柔軟な支援活動が可能に

ご寄付はあらかじめ使途を制限されない形でいただくことが大半です。

そのため、目まぐるしく変化する社会情勢の中でユース世代のニーズに合わせたサポートを迅速に行なうことができます。

・長期的に安定した支援活動が可能に

当団体は3,400人を超える月額寄付サポーターに支えられています。月額寄付をいただくことで、長期的な支援計画を組み立てることができ、安定してユース世代をサポートすることができます。



D×Pは、14期目の活動に入りました。
若者が未来に希望を持てる社会の実現のため
これからも挑戦していきます。
今後とも応援よろしくお願いいたします。

質疑応答
